

昭和興産

昭和興産は、今年度(2013年12月期)からスタートした中期経営計画の中で、3年後(15年度)に国内事業と海外事業の単純合算で売上高800億円にチャレンジする。「成長するアジアでビジネスを拡大する(沢瀉一雄社長)ことを重点施策の1つに掲げ、タイ(バンコク)、上海、香港の3拠点の機能強化を進めるほか、東南アジアを候補に新たな拠点の開設も検討する。

昭和興産は合成樹脂関連、化学品関連、情報電材関連、産業資材関連を事業領域とする。12年度の業績(単体)は売上高が645億円、経常利益が10億2000万円、「土木とアルミ関連が落ち込んだ」ことが響き減収減益となった。

「『躍進800計画』」創業70周年からの新たな挑戦」をスローガンとする。3力年の中期経営計画は、日本とアジアで活躍する企業へ進化することを基本方針とする。最終年度に国内事業をリーマンショック前の

## 内外売上高800億円に挑戦

750億円に戻し、現在30億円強の海外事業を50億円に引き上げる。

海外事業では、昭和興産(タイランド)が自動車関連を中心に堅調に推移する。最近では日系企業にタイおよび周辺地域のOEM先を紹介するビジネスにも力を入れており、12年12月には日本人スタッフを2名から3名に増員した。中国事業は大物商材がなくなるなど、やや苦戦しており、上海の強化と華南地区の開拓でテコ入れを図る。

一方、国内事業については「顧客の動きをしっかりフォローする」ことで新たなビジネスの発掘につなげていく。

